

2016 <sup>か</sup> <sup>そく</sup> 家族でかくにん!

# わが家のぼうさい コンテスト

入賞作品集



もしものときに備え、<sup>そな</sup> <sup>か</sup> <sup>そく</sup> <sup>はな</sup> <sup>あ</sup> 家族で話し合おう!

主催／ふくいの水防災を考える会 福井新聞社 NHK福井放送局 後援／福井県教育委員会

(国土交通省近畿地方整備局、福井地方気象台、福井県、福井市、鯖江市、あわら市、小浜市、坂井市、若狭町、池田町)

# もくじ

## 2 入賞者一覧

## 3 審査委員名列

## 4 審査講評

審査委員長  
福井工業高等専門学校  
環境都市工学科教授 辻子 裕二氏

## 7 最優秀賞 作品紹介

福井市東郷小学校 5年 浅田 美緒さん

## 9 優秀賞 作品紹介

福井市豊小学校 5年 林田 ひなたさん  
坂井市春江小学校 5年 西畑 勝人さん

## 11 福井新聞社長賞 作品紹介

福井市社北小学校 6年 藤嶋 亜衣さん

## 12 NHK福井放送局長賞 作品紹介

福井市豊小学校 5年 橋本 愛花さん

## 13 入選作品の紹介

## 16 奨励賞作品の紹介

# 2016 家族でかくにん! わが家のぼうさいコンテスト 入賞者一覧



浅田 美緒さん  
福井市東郷小学校 5年



林田 ひなたさん  
福井市豊小学校 5年

西畑 勝人さん  
坂井市春江小学校 5年



藤嶋 亜衣さん  
福井市社北小学校 6年



橋本 愛花さん  
福井市豊小学校 5年



作川 航さん  
福井市東郷小学校 3年

浅妻 葵衣さん  
福井市社西小学校 6年

山下 綾心さん  
福井市豊小学校 6年

原田 侑奈さん  
福井市東郷小学校 5年

酒井 雄人さん  
福井市社西小学校 6年

鈴木 瑠璃さん  
坂井市春江小学校 5年

宮田 柁央さん  
坂井市春江小学校 5年

直井 陽莉さん  
鯖江市片上小学校 4年

佐々木 心叶さん  
越前町織田小学校 6年

木原 美樹さん  
福井市豊小学校 4年

石橋 小春さん  
福井市豊小学校 5年

武内 わか葉さん  
小浜市国富小学校 5年



佐々木 ゆらさん  
福井市東郷小学校 5年

須方 海咲さん  
福井市社北小学校 6年

萩原 あずみさん  
福井市東藤島小学校 4年

平木 里奈さん  
福井市豊小学校 4年

藤田 耕輔さん  
福井市東郷小学校 5年

竹原 寛騎さん  
福井市豊小学校 6年

垣東 昊汰さん  
小浜市国富小学校 5年

若林 奈央さん  
福井市社西小学校 4年

中西 葵さん  
坂井市春江小学校 5年

田中 綾人さん  
鯖江市北中山小学校 6年

藤内 菜摘さん  
小浜市国富小学校 5年

畠中 希実さん  
小浜市宮川小学校 6年

田渕 快さん  
福井市社西小学校 4年

高原 伶奈さん  
福井市東藤島小学校 4年

山端 咲貴さん  
福井市豊小学校 4年

新川 遥香さん  
坂井市春江小学校 5年

藤田 蒼生さん  
小浜市国富小学校 5年

藤田 優依さん  
福井市東藤島小学校 4年

京谷 一子さん  
福井市社北小学校 5年

島津 真秀さん  
福井市社西小学校 6年

皆川 愛稀さん  
福井市松本小学校 5年

森 和香菜さん  
坂井市春江小学校 5年

松尾 いろはさん  
小浜市宮川小学校 6年

## 審査委員名列

審査委員長	辻子 裕二氏	福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授
審査委員	中村 圭吾氏	国土交通省近畿地方整備局 福井河川国道事務所長
	斎藤 重人氏	福井県土木部防災技幹
	内藤 宏人氏	福井地方気象台長
	山西 弘行氏	福井市危機管理局長
	山本 道隆氏	福井新聞社常務取締役営業局長
	大門 博也氏	NHK福井放送局長



## 2016 家族でかくにん! わが家のぼうさいコンテスト

### 審査講評



〈審査委員長〉 辻子 裕二氏 福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授

「わが家のぼうさいコンテスト」は、今回で第3回を迎えました。年々応募数が増え、今年度は295点もの作品が寄せられました。まずは、応募されましたご家族ならびにご指導にあられた関係者の皆様にお礼申し上げます。昨年度に比べますと、入賞総数はやや増えて40点となったものの、入賞率を見れば13.6%という厳しいものでした。全体として質が高く、惜しくも入賞を逃した作品の中にもすばらしいものが多く含まれていることをお伝えしておきます。

当コンテストのような防災に関する成果物コンテストで最も重視されるのは、その作成プロセスです。現地を調査、分析し、話し合ったプロセスを一枚の紙に記すことで、関係者の安全・安心が一步高まることを期待するものです。プロセスも重要ですが、今年の審査で着目したのは成果物の実利用性です。防災マップのような成果物は、災害という“非日常”の出来事を“日常”の中で学ぶツールとなります。したがって、これらの作品が家のどこかに掲示され、家族が毎日防災を学ぶ様子が想像できるかどうか、という点が問われるのです。

入賞したどの作品も、実利用場面が手に取るように想像できるものでした。中でも、上位作品は毎日見ても飽きることなく、必要な情報が的確に示されておりました。どうしても、防災となると危機感をあおるような色使いが目立つようになってしまっているところですが、これらの作品は非常に柔らかい色使い、タッチで構成されており、脅迫的な防災とは異なる、幸せを導くやさしい防災の感を抱くことができます。

上位入賞は逃したものの、特徴ある作品も多く見られました。中には妊婦の方をターゲットとした作品がありました。家族の中に災害時要配慮者が含まれることは多々あります。中でも妊婦の方は、(おなかの大きさが変化することもあり) 時間とともに対応が変化しますし、どの家庭でも考えておくべきものです。このような具体性のある調査、分析が多くみられたことは家庭内の防災力が年々向上している表れと感じております。この他、「わが家ではこうする!」という決意を表明している作品も多く見られました。防災には行動が不可欠です。行動には決意が不可欠です。この決意を示すことは地域、家族の防災力を向上させる一因となります。

入賞作品に限らず、応募いただいた作品は、是非ご家庭のどこかに掲示され、日々の防災に役立つことを期待します。また、次年度も多くの作品を見ることができると楽しみにしております。

2016 家族でかくにん！  
**わが家のぼうさいコンテスト**  
 入賞作品集



表彰式で辻子委員長（右）から賞状を手渡される最優秀賞の浅田美緒さん  
 =10月10日、福井市の福井新聞社・風の森ホール



取り組んだ感想を発表する最優秀賞の浅田さん



辻子委員長による防災講演



福井市が企画した防災グッズやパネルの展示



大勢の親子連れらが列をつくった地震体験車



表彰式会場で行われた入賞作品展



入賞作品を写真に収める来場者



福井地方気象台による実験コーナー



実験を楽しむ児童たち



福井市東郷小学校 5年  
浅田 美緒さん



**受賞者コメント**

「いま、避難しなければいけなくなったらどうする？」

私が住む町が災害におそわれたらどうするか、防災マップ作りの中で考えることにしました。防災についてインターネットで調べてみましたが、私には言葉や内容など、とても難しかったです。そこでみんなにわかりやすいものを作りたいと思いました。

ハザードマップでは福井豪雨の時にどこが浸水したかを知ることができます。その範囲に色を付けると、遊んでいる場所や通学路の中で、どこが危険でどう逃げるべきかよくわかりました。

次に、父と避難経路を歩いてみました。途中には足をふみはずしそうな場所があり、浸水した時は足元が見えずとても危険です。また、避難場所である公園には、避難場所のマークがある方が良かったと思います。防災マップには、避難場所や危険な場所の写真を貼り付けて、わかりやすくなるように工夫しました。

私の町にもいつ災害が起こるかわかりません。防災マップ作りのおかげで、災害の時にどうするかなど、情報を知っていることの大切さがわかりました。これからも防災について家族で取り組んでいきたいです。

**講評** (審査委員長) 福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授 辻子 裕二氏

日常生活の中で毎日のように見ても飽きないよう、恐怖感、圧迫感を与えない色使いやタッチが工夫された作品です。緻密な調査結果に基づいて分析がなされており、知っておきたい知識(知っておかなければならない知識)も適切に表現されています。何よりも楽しく調査をしている写真が印象的です。この作品を見ることで、ご家族以外の方も触発され、「わが家でも作ってみるか」という気持ちになるのではないのでしょうか。

# 福井市のハザードマップが考えた!

**見えておこるマークの意味**

- 避難場所
- 避難経路
- 危険な場所
- 緊急避難場所
- 避難経路
- 危険な場所

**危険な場所**

その1. 災害時はあわてず身をを守る  
 その2. 元ビヤやネットの情報を確認する  
 その3. 地震の際は福井公園へ、入園の時は地域の指示をよく聞く。(毎月1回Check)  
 その4. 3日分の食料や水、救急キットを備える  
 その5. 地域別防災訓練は必ず参加する

**避難経路**

東日本震災の時、通学時に  
 場所がわからない、避難場所がわからない、  
 この時は、避難場所がわからない、  
 避難経路がわからない、  
 避難場所がわからない、  
 避難経路がわからない、  
 避難場所がわからない、  
 避難経路がわからない、

**避難場所**

指定緊急避難場所とは、  
 災害発生時、または災害発生を恐れられる場合に、その危険を回避する場所。まずはここに避難します。  
 指定避難場所とは、  
 災害発生時、または災害発生を恐れられる場合に、指定された避難場所です。

**危険な場所**

避難してきて気付いたこと  
 ・家から避難場所まで4分  
 ・避難場所まで5分位の近さ  
 ・避難場所はマークや情報がないことばかり  
 ・避難場所は大雨の時には危険な場所がある  
 ・避難場所は大雨の時には危険な場所がある

**危険な場所**

避難の道は道路がきれいで歩きやすいです。

# わが家の防災マップ

**避難経路を調査しました!**

**避難場所**

避難場所には、安全になるまで一歩ずつ避難場所  
 右に、洪水時は、約220m (歩いた4分)

**危険な場所**

避難の道は道路がきれいで歩きやすいです。

**避難経路**

避難してきて気付いたこと  
 ・家から避難場所まで4分  
 ・避難場所まで5分位の近さ  
 ・避難場所はマークや情報がないことばかり  
 ・避難場所は大雨の時には危険な場所がある  
 ・避難場所は大雨の時には危険な場所がある

**危険な場所**

避難の道は道路がきれいで歩きやすいです。



優秀賞

福井市豊小学校 5年  
林田 ひなたさん



受賞者コメント

防災マップを作るにあたって、工夫したところは、実際に行ってみて、インタビューして、確かめたところです。「ハザードマップ」では、ひなん所に指定されていた豊公民館にインタビューしてみるとひなん所になっていないということが分かりました。インタビューしないと分からなかったらと思います。

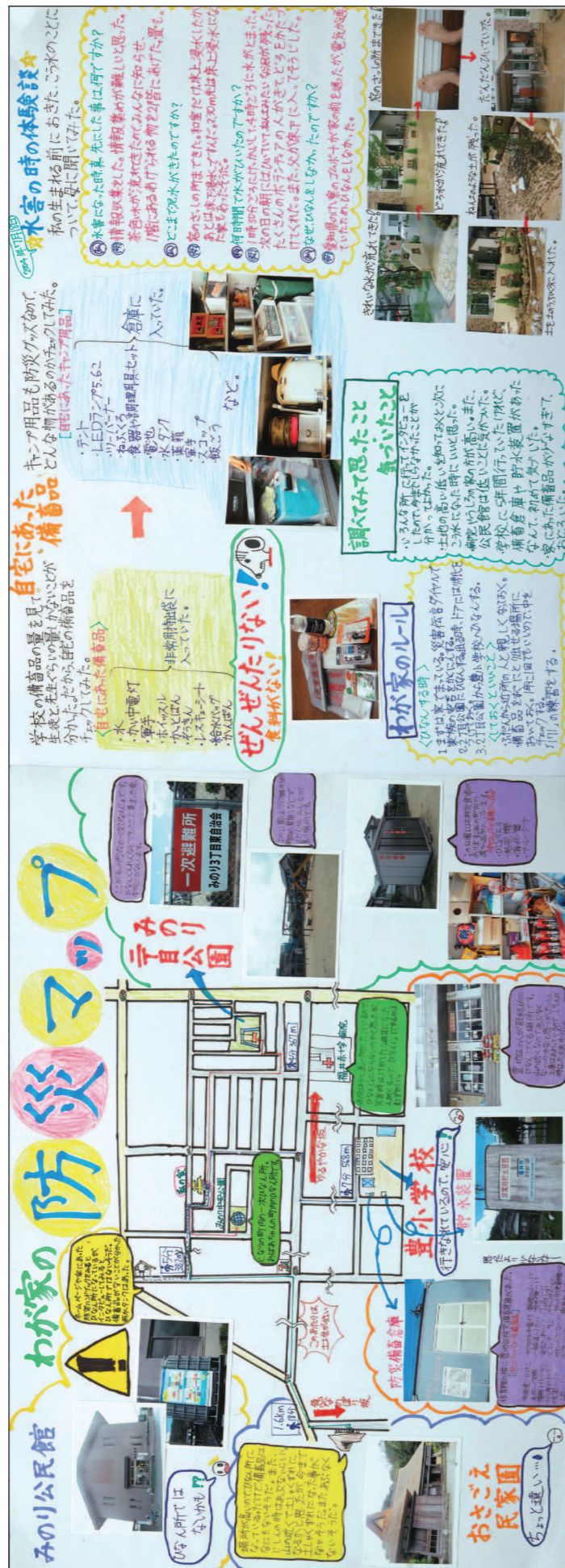
実際、2004年の水害の時には、公民館の辺りは、水につかっている、土地が周辺より低いということも分かっています。土地の高低を確認することも大事だと分かりました。

また、備蓄品の確認をして、食料は各自家庭で用意すべきだということも分かりました。早速非常食を買い足しました。

防災マップ作りを通して、私たちは、災害時のことを風化させず、みんなで協力して防災の意識を高めていくことが大事だということに気がきました。

講評 〈審査委員長〉

最優秀作品と同様、この作品もやさしい色使いが特徴的です。また、自宅の備蓄品を調べた上で、「ぜんぜんたりない」という戒めのメッセージを表現している点が印象的です。防災マップは作ることも大切ですが、状況に応じて更新していくことも不可欠です。自らの課題を明確にしておけば、継続的な防災活動につながります。この点で「ぜんぜんたりない」は家族の大きな決意表明ともいえます。ますますの自己研さんを期待します。



優秀賞

坂井市春江小学校 5年  
西畑 勝人さん



受賞者コメント

防災コンテストに取り組むことで、ぼくはとても安心することができました。一人で家にいるときや遊びに出かけたときに災害があっても、落ち着いて行動ができそうです。また、家族の集場所も決めたので、災害が起きた時に家族がちがう場所においても、集まってくることができると思います。

作品作りで力を入れたのは、自分の足と目を使ってひなん場所やきけんな場所を確認したこと、地域の方や専門家の方にインタビューをしたことです。大変でしたが、新しい発見をしたり防災に関する情報や知識を増やしたりすることができました。でも、災害は予想がつかないので、その時の状況を見ながら、自分で考えて行動できる力が必要だと思いました。

坂井市防災訓練にも参加しました。しかし、おどろいたことに、ぼくの地区の参加者は6名でした。ぼくの地区は、坂井市で一番高い者が多いそうなので、みんなで声をかけ合って訓練に参加できるとよいと思いました。

講評 〈審査委員長〉

「遊んでいるときに自然災害が起こったら」という、小学生ならではの視点からの分析がある作品です。大人だけでは気づかない具体的提案が目を引きまます。少し愉快に「わが家にもあった非常持ち出し袋」が紹介されています。この作品作りを通じて家庭内で気づきが生れたことが伺えます。毎年確認するぞ、という意気込みも感じ取ることが出来ます。大きな作品ですが、掲示方法なども工夫してもらとう良いかと思います。



福井市社北小学校 6年  
藤嶋 亜衣さん

講評 (審査委員長)

几帳面なタッチで描かれた、丁寧な作品です。作品にやさしさがにじみ出ています。地震などのハザードの違いに応じた対応(避難先)の違いも明記されています。何よりも「わが家の約束」が明確に示されています。それぞれが自助を達成し、家族ぐるみで対応する強い姿勢が伺えます。消防署の方とのインタビュー録も載せており、防災に対するデータ収集の堅実さが読み取れます。

**藤嶋家 防災マップ**

**わが家の約束**

- 一時避難場所は緑苑公園。
- 災害が起きた時はあわてず、落ち着いて行動する。
- 全員が学校が休校中に災害が起きた時は「社北小学校」で両親が来るのを待つ。
- 防災訓練には家族みんなで参加する。

**自分の身は自分で守ろう!**

自宅から一時避難場所までの経路

- 赤矢印通りに進む。(危険な物がないか確認する)
- 緑苑公園までは徒歩3分で行く。(ベンチ付近に集合)

**家の中の防災チェック!**

1. 非常用かばん

- ・かん中電灯・水・食料
- ・軍手・ラジオ・乾電池
- ・救急セット・ヘルメット
- ・タオル・ティッシュペーパー
- ・携帯充電器・ペット用品
- ・マッチ・ろうそく・ごみ袋

2. 火災警報器

★わが家では夜間の災害に備えて、寝室に非常用かばんを置いてある。

**消防署の人にインタビューしました!**

調べていて分からないことやペットの事について、近所の福井消防社分署へ聞きにいきました。

災害が起きた時一番見つけなければいけない事は何か。

二次災害(余震や火事)の防止が大切。福井地震の時は火事をさけるために川へ逃げこんだ人もいたそうです。

家に小型犬がいるのですが避難する時は一緒に連れて行くのも大丈夫ですか。

同行避難は問題ありません。(避難所内にペットを連れて入ってもよいかどうかは確認が必要です。屋外は○)

避難場所について、地震災害時は社北小学校、風水災害時は社北公民館なのはなぜですか。

地震災害時は建物がおおる可能性があるためグラウンドに避難します。風水災害時は頑丈な建物の中に避難する必要があります。人数が多くなる場合は社北公民館に避難します。人数が多くなる場合は社北公民館の体育館や教室に移動する事もあります。

私は今色々調べてみて、災害に対する準備が必要だと思いました。そして実際に家族と避難経路を決めてみた。家族の約束を決める事ができたので、わが家で決めて「防災マップ」の事も心配だったので一緒に避難場所を決めていけるとすごくうれしかったです。

受賞者コメント



私は、今まで「防災」について興味がありませんでした。でも、四月に発生した熊本地震で友達の家族が被害にあったと聞き、もし福井でも地震が起きたら自分はどうしたらよいのだろうと思い、防災について調べる事にしました。

まず、母と避難場所の緑苑公園まで歩いてみました。その時、公園入口のかん板に書かれていた避難場所が、地震時と風水災害時では違う事に気がつきました。その後、家族と持ち出し袋の準備物やペットの避難方法などを話し合ううち疑問に思った事があったので直接社分署を訪問して話を聞きました。分かりやすく説明して下さい、とても参考になりました。

今回防災マップ作りを通して、私達一人一人が災害に備え、防災意識を持つ事が大切だと思いました。

そしてもし災害が起きた時は、家族で決めた約束を守り、落ち着いて避難したいです。



福井市豊小学校 5年  
橋本 愛花さん

講評 (審査委員長)

歴史を調査・分析し、被災経験のある家族にもインタビューした作品です。家族が被災したという事実を見つけることもありませんが、経験に基づき堅実に対応していることが示されています。歴史や経験から学ぶことの大切さを訴えている作品ともいえます。年に1回備えるべきもののリストも示されています。今後も、継続的な防災活動が期待できる作品です。

**わが家の防災マップ**

**水害の怖さ 福井豪雨とは?**

日時 平成16年7月18日

- ・死者・行方不明者 5人
- ・住宅全半壊 約200棟
- ・床上床下浸水 約13600棟

この豪雨により河川の水位が上昇し、堤防から水があふれて大きな被害がでました。

私の生れる午前起きた福井豪雨。どのような状況だったのか、どういった気持ちだったのか、経験者・私の叔父さんにインタビューしました。

当時どのような状況でしたか。

「外は泥沼のようで、家は床上浸水し、家の前には車が水につかかってしまっただけ。とても避難できるじゃないかなって思ったよ。どういった気持ちでしたか。」

「車くらい避難しければいいと思ったよ。その後の対策方法はありますか。」

「家を建て直した時水につかからないよう高く建て直した。」

**災害に備える物**

飲料水 非常食

- ・防災ずきん・ヘルメット
- ・スリッパ
- ・かんざし
- ・救急箱
- ・タオル
- ・毛布
- ・マスク
- ・予備電池
- ・懐中電灯
- ・携帯ラジオ
- ・軍手
- ・緊急連絡先リスト
- ・家族の写真

年1回は、点検をしよう。消臭剤の期限のチェック。今年度の地区の避難訓練に、避難所のカートをいれたらいい。17(家族の避難)の日にしよう。

「まずは身の安全を確保することを優先する。」

**地震・台風にも備える**

- ・家具の転倒を防ぐ…安、張り棒など固定。
- ・住宅用火災警報器をつける。
- ・家のまわりを点検しよう!
- ・自衛する前に家のまわりを危険な所はないか点検する。屋根に危険はないか、トナリは飛ばされないように点検。
- ・地震・台風から身を守る。
- ・もしも災害があったらこの防災マップを活用しよう。
- ・お父さんにインタビューして、豪雨の写真をみて、災害より怖いものに飛んだ。

**家族で決めた約束事**

1. 一次避難所は、山奥公園。(地震災害時—豊小学校、風水災害時—豊公民館)
2. 災害がおこるときは落ち着いて行動する。
3. 避難する時は、行き先を書いた紙を玄関に張っておく。
4. 毎年ある、町内の防災訓練には家族で参加する。

事故にあっても見つけた時緊急連絡方法

110 警察

119 消防車と救急車

171 災害伝言ダイヤル

家族の感想

子どもと一緒にハザードマップを調べ、避難所を確認することができました。防災訓練は、家族みんなで参加する事ができて、とても良かったです。また、防災マップを作る事で、家族の約束を決める事ができたので、とても良かったです。

お父さんは、豪雨で家が壊れた時、避難所に行くまで、川に危険な所があったので、車を降りて避難しました。お母さんは、避難所に行くまで、川に危険な所があったので、車を降りて避難しました。お父さんは、豪雨で家が壊れた時、避難所に行くまで、川に危険な所があったので、車を降りて避難しました。

受賞者コメント



私の住んでいる地域は、福井豪雨の被害にあいました。今でも大雨がふると不安になることがあります。

防災マップは、家族で話し合い、もしもの時に備えて作りました。

まず避難所の確認、家から学校・公民館周辺まで歩いて調査しました。危険な場所はないか、避難する場所を地図で現すことが難しかったです。色分けや写真を入れて見やすくなりました。

近くの病院周辺には、消火栓が多くあること、家の周りにも消火栓があることがわかりました。また、福井豪雨を経験した父の話を聞くことができました。

災害に備える物をチェックすることができいつ起こるか分からない災害が起こった時に行動できると思います。



福井市東郷小学校 3年  
作川 航さん



講評 (審査委員)

避難所のまわりを広く観察してよいと思います。被害にあつた気持ちで避難所を見まわることによって不便に気づけたこと、持ちができたことよいと思います。



福井市社西小学校 6年  
浅妻 葵衣さん



講評 (審査委員)

家族でよく話し合ったことをふまえて、自宅周辺の状況や災害への備えをいねいに調査しています。その結果を、わかりやすい地図にまとめており、レイアウトもきれいです。



福井市社西小学校 6年  
酒井 雄人さん



講評 (審査委員)

家族みんなの似顔絵が描かれていることが、大変良いと思います。たくさん色を使った地図やイラストも工夫がなされており、避難する時のイメージがわかりやすいマップに仕上がっています。また、家庭内で地震対策を行っていたり、地区の防災訓練へ参加したり、家族みなさんの防災意識が高いことがうかがえます。



坂井市春江小学校 5年  
鈴木 瑠璃さん



講評 (審査委員)

描かれた避難ルートは、普段、何気なく通り過ぎてしまうことにも注意してコメントを添えるなど、実際に歩いてみたことが非常に良い経験とされたと感じます。また、自宅のお助けグッズや、非常時の持出品をチェックするなど、防災への備えについても、家族みんなで考えたことが伝わってきます。



福井市豊小学校 6年  
山下 綾心さん



講評 (審査委員)

災害時に特に配慮が必要な妊婦さんをはじめ、子どもやお年寄りなども着目し、作品に取り組んだ点にとっても感心しました。また、自分の住む地域や地形などの特徴をよく理解した上で、より災害の影響が低い避難ルートを設定しており、実践的にも非常に役立つ内容に仕上がっています。



福井市東郷小学校 5年  
原田 侑奈さん



講評 (審査委員)

災害が起きた時にどう行動するか、家族で話し合った決めごとがしっかりと書かれています。また、避難場所に移動する際、地域の状況をよく認識して、想定される危険から逃れる避難経路にしています。それらがこの防災マップの評価できる点です。



坂井市春江小学校 5年  
宮田 柁央さん

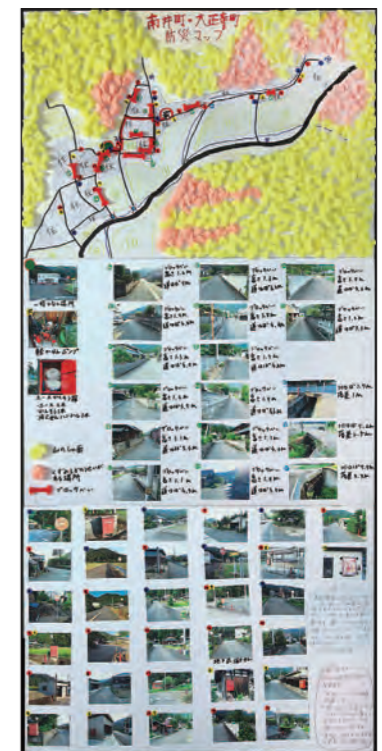


講評 (審査委員)

家族で話し合い、地図とついでに一家の防災マニュアルを作ったところがよいと思います。中でも、いざというときに備えて必要最低限のものをそろえた「マイぶくろ」を持ち歩くことにしたのはよいアイデアです。



鯖江市片上小学校 4年  
直井 陽莉さん



講評 (審査委員)

地図を立体的にするなど、とても独創的な仕上がりです。52枚もの写真を使い、視覚に訴えている点も効果的です。ブロックがある箇所を丹念に調べている点も効果的のため、避難経路には選ばないようにするなど、工夫がみられます。





越前町織田小学校 6年  
佐々木 心叶さん



講評 (審査委員)

家族が離れ離れのときに災害に遭ったことを想定し、災害用伝言ダイヤルを利用することなどを約束事に盛り込んでいる点が実践的です。非常持ち出し品もきめ細かく準備していて、万一のときにとても役立つ内容になっています。



福井市豊小学校 4年  
木原 美樹さん



講評 (審査委員)

写真を上手に使用し、自分の家の周りの防災設備を実際に歩いて確認した様子がよく伝わってきました。家族から福井豪雨の体験談を聞いて、危険な箇所だけでなく、比較的安全な箇所を記してあるところも素晴らしい点です。



福井市東郷小学校 5年  
佐々木 ゆらさん



福井市社北小学校 6年  
須方 海咲さん



福井市東藤島小学校 4年  
萩原 あずみさん



福井市豊小学校 4年  
平木 里奈さん



福井市東郷小学校 5年  
藤田 耕輔さん



福井市豊小学校 6年  
竹原 寛騎さん



福井市豊小学校 5年  
石橋 小春さん

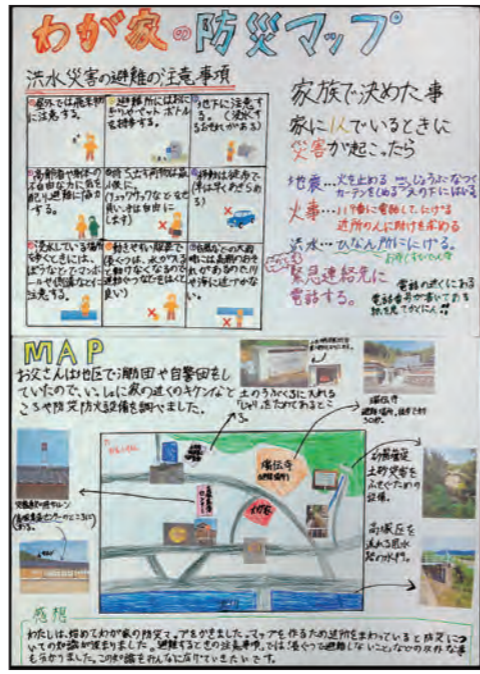


講評 (審査委員)

火事から生きのびるために手をオノで切るなど、福井地震を経験した方の壮絶な様子を聞いた上で、自分の家の備えや約束ことを確認し、地域で命を守るための情報がよくとりまとめられています。



小浜市国富小学校 5年  
武内 わか葉さん



講評 (審査委員)

避難する時について、長靴の不向き、棒による安全確保、そして、高齢者への気配りまで、様々な注意事項が書かれていて、たいへん参考になります。家の近くを調べた結果、どこが危険な箇所だったのかを明記していればよかったと思います。



小浜市国富小学校 5年  
垣東 昊汰さん



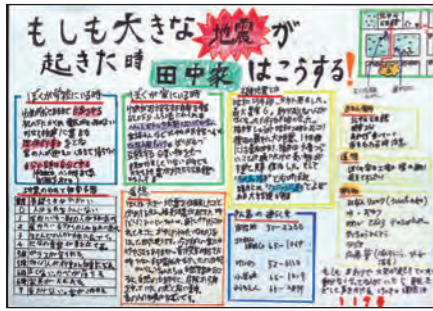
福井市社西小学校 4年  
若林 奈央さん



坂井市春江小学校 5年  
中西 葵さん



奨励賞 鯖江市北中山小学校 6年 田中 綾人さん



奨励賞 小浜市国富小学校 5年 藤内 菜摘さん



奨励賞 小浜市宮川小学校 6年 畠中 希実さん



奨励賞 福井市社北小学校 5年 京谷 一子さん



奨励賞 福井市社西小学校 6年 島津 真秀さん



奨励賞 福井市松本小学校 5年 皆川 愛稀さん



奨励賞 福井市社西小学校 4年 田淵 快さん



奨励賞 福井市東藤島小学校 4年 高原 伶奈さん



奨励賞 福井市豊小学校 4年 山端 咲貴さん



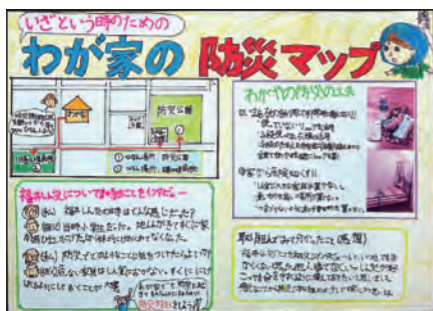
奨励賞 坂井市春江小学校 5年 森 和香菜さん



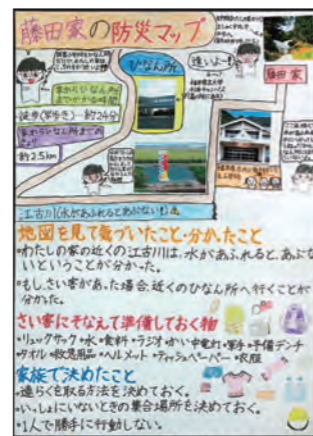
奨励賞 小浜市宮川小学校 6年 松尾 いろはさん



奨励賞 坂井市春江小学校 5年 新川 遥香さん



奨励賞 小浜市国富小学校 5年 藤田 蒼生さん



奨励賞 福井市東藤島小学校 4年 藤田 優依さん



**防災出前授業やっています!**

全国各地で大きな自然災害が起きている中、災害の怖さを知り、十分な備えをすることはとても重要です。ふくいの水防災を考える会は、さまざまな災害にどう備えるべきか、分かりやすくまとめた防災補助教材「災害から命を守る みんなに知ってほしいこと」を作りました。

また、福井県では小学校へ出向いての防災出前授業を行っていますので、ご希望があれば福井県砂防防災課までご連絡ください。

福井県砂防防災課 ☎0776-20-0494

主催／ふくいの水防災を考える会 福井新聞社 NHK福井放送局 後援／福井県教育委員会 平成28年12月発行  
(国土交通省近畿地方整備局、福井地方気象台、福井県、福井市、鯖江市、あわら市、小浜市、坂井市、若狭町、池田町)